

令和6年度

第4年次編入学生募集要項

入学案内

(出願書類添付)

高専

試験区分	出願期間	試験日	合格発表
推薦	令和5年7月10日(月) ～7月14日(金)	令和5年7月29日(土)	令和5年8月4日(金)
学力	令和5年11月15日(水) ～11月20日(月)	令和5年12月2日(土)	令和5年12月14日(木)

※新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況によっては、上記日程及び選抜方法等について変更となる可能性がございます。変更が決定しましたら、本校ホームページ上で告知しますので、ご確認をお願いします。

独立行政法人 国立高等専門学校機構

佐世保工業高等専門学校

佐世保市沖新町1番1号

郵便番号 〒857-1193

電話 (0956)34-8428 (学生課入試担当)

FAX (0956)34-8425 (学生課)

E-mail nyusi@sasebo.ac.jp

ホームページアドレス <https://www.sasebo.ac.jp/>

【本校の教育目的】

- (1) ものづくりや創造する喜びと学ぶ楽しさを早期に知ることを通して、明確な職業意識、学習意欲を養成する。
- (2) 高度科学技術の中核となって推進するための基礎知識と基礎技能、専門知識を身につけ、自ら課題を探究し、解決できる能力を養成する。
- (3) 実験実習など体験学習を重視して豊かな創造性と実践力を養成する。
- (4) 論理的な思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養成する。
- (5) 情報技術の進展に対応できるよう、全学科において情報リテラシーを養う。
- (6) 豊かな教養と倫理観を身につけ、地球的な視野で人類の幸福のために貢献できる能力を養成する。

【各学科の教育目的】

○ 基幹教育科

- (1) 人文・社会・保健体育系科目では、心身ともに豊かな人間性と倫理観を養成する。
- (2) 理数系科目では、実験・実習の体験的学習を重視し、理論と実践に導かれた創造性と実践力を養成する。
- (3) 国語・英語系科目では、国際的に活躍できる技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図り人間力を養成する。
- (4) 専門科目との連携を図り、専門科目学習につなげるための基礎学力・応用力を養成する。

○ 機械工学科

- (1) 材料力学・機械力学・熱力学・流体力学という4つの力学科目の習得を通して、機械工学系技術者としての基礎能力を養成する。
- (2) 機械工作、機械材料、機構、設計などのものづくり技術関連分野に加え、制御工学や電気・電子工学分野などのメカトロニクス技術関連分野の習得により、機械装置・機械システムの設計開発能力を養成する。
- (3) ものづくりの基盤となる機械製図や機械工作実習、機械工学実験を通して実践力を育み、卒業研究では自学自習能力の向上とともに、総合的な課題解決能力および技術開発能力を養成する。

○ 電気電子工学科

- (1) 電気回路や電磁気学などの工学系基礎科目の習得を通して、電気電子系技術者としての基礎能力を養成する。
- (2) 電気工学、電子工学および情報通信工学の三分野の幅広い技術を教授し、エネルギー・エレクトロニクス・コンピュータ分野で課題を迫及・解決できる能力を養成する。
- (3) 電気電子情報工学実験や実習などの実践的学習を通して、計画・遂行・データ解析・工学的考察および説明能力を育み、卒業研究においては技術開発能力を養成する。

○ 電子制御工学科

- (1) 情報通信系，電気電子系，機械制御系の基礎科目の習得を通して，電子情報・制御系技術者としての基礎能力を養成する。
- (2) ソフトウェアや電子制御システムの理解を通じて，コンピュータや電子回路技術を応用した自動化システム・ロボットシステム・知能化システムのデザイン能力を養成する。
- (3) 情報処理や工学実験などの実験実習を通して実践力を育み，卒業研究では自学自習能力の向上とともに，問題解決能力および技術開発能力を養成する。

○ 物質工学科

- (1) 有機化学系，無機化学系，分析化学系，化学工学系および生物工学系の基礎科目の習得を通して，化学・生物系技術者としての基礎能力を養成する。
- (2) 機能材料学や分子生物学などの分野の理解を通じて，化学および生物工学領域における課題探求能力を養成する。
- (3) 物質化学実験により実践力を育み，卒業研究により自学自習能力の向上とともに，課題解決能力および技術開発能力を養成する。

受験生の皆さんへ

佐世保工業高等専門学校におけるアドミッション・ポリシー
(入学者に求める能力と適性)

■機械工学科

機械工学科では、次のような人材を求めます。また、4年次編入学の場合は以下に準じます。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
- 2) 機械に興味をもち、機械に関する専門知識と技術を習得したい人
- 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
- 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■電気電子工学科

電気電子工学科では、次のような人材を求めます。また、4年次編入学の場合は以下に準じます。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
- 2) 電気電子工学に興味をもち、電気電子工学に関する専門知識と技術を習得したい人
- 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
- 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■電子制御工学科

電子制御工学科では、次のような人材を求めます。また、4年次編入学の場合は以下に準じます。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
- 2) コンピュータやロボットに興味をもち、情報や電子制御システムに関する専門知識と技術を習得したい人
- 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
- 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■物質工学科

物質工学科では、次のような人材を求めます。また、4年次編入学の場合は以下に準じます。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
- 2) 化学や生物に興味をもち、物質工学に関する専門知識と技術を習得したい人
- 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
- 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

佐世保工業高等専門学校におけるカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラムに準拠した体系的なカリキュラムを構成する。各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法を Web シラバスにより公開し、学修の成果は、後に定める基準により評価する。

- 1) 科学に関する基礎を理解し、計算あるいは説明する力を育成するために、数学・自然科学系科目を設ける。
- 2) 論理的に思考し、意見をわかりやすく日本語および英語で表現する力を育成するために、人文科学系科目を設ける。
- 3) 多様な文化・価値観を尊重する倫理観を持ち、他者と協働する力を育成するために、社会科学系科目を設ける。
- 4) 幅広く自ら学び・考え、地域と世界の課題に対して積極的に取り組む力を育成するために、総合的科目を設ける。
- 5) 情報セキュリティの必要性を認識したうえで、様々なデータを処理・分析する力を育成するために、数理情報系科目を設ける。

■機械工学科

- 6) ものづくりの基盤となる機械工学に関連する知識・理論を利用し、課題解決する力を育成するために、機械系工学科目を設ける。
- 7) ものづくりの基盤となる機械工学に関連する知識・技術を活用し、多面的視点から社会の課題に取り組む力を育成するために、機械系工学実験を設ける。

■電気電子工学科

- 6) 社会基盤技術を支える電気・電子・情報工学に関連する知識・理論を利用し、課題解決する力を育成するために、電気・電子系工学科目を設ける。
- 7) 社会基盤技術を支える電気・電子・情報工学に関連する知識・技術を活用し、多面的視点から社会の課題に取り組む力を育成するために、電気・電子系工学実験を設ける。

■電子制御工学科

- 6) 安心・安全な情報化社会を創出するデータサイエンス、および、電子制御技術に関連する知識・理論を利用し、課題解決する力を育成するために、情報系工学科目を設ける。
- 7) 安心・安全な情報化社会を創出するデータサイエンス、および、電子制御技術に関連する知識・技術を活用し、多面的視点から社会の課題に取り組む力を育成するために、情報系工学実験を設ける。

■物質工学科

- 6) 生活を豊かにする物質をうみだす応用化学、および、バイオテクノロジーに関連する知識・理論を利用し、課題解決する力を育成するために、化学・生物系工学科目を設ける。
- 7) 生活を豊かにする物質をうみだす応用化学、および、バイオテクノロジーに関連する知識・技術を活用し、多面的視点から社会の課題に取り組む力を育成するために、化学・生物系工学実験を設ける。

※ 本校のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）については、本校ホームページをご覧ください。

令和6年度 第4年次編入学生募集要項

I. 推薦による選抜

1. 募集学科・学年・人員

学 科 名	編入学年次	募 集 人 員
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 電 子 制 御 工 学 科 物 質 工 学 科	第4学年	若 干 名

2. 出願資格

次に掲げる者で、下の推薦条件（ア）（イ）（ウ）を全て満たし、在籍学校長が責任を持って推薦できる者とします。

- (1) 工業高等学校を令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の工業に関する学科を令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の工業に関する学科を令和6年3月卒業見込みの者

推薦条件

- (ア) 人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲のある者
- (イ) 学科（クラス）での成績が現員の上位10%以内（1・2年次の平均）の者
- (ウ) 本校に入学する意志が強固であって、合格した場合は必ず入学する者

3. 志望学科

志望学科	出身校における所属科等
機 械 工 学 科	機械科、電子機械科、機械システム科等
電 気 電 子 工 学 科	電気科、電子工学科、情報技術科等
電 子 制 御 工 学 科	電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	工業化学科、化学工学科、材料技術科等

4. 願書受付

期 間	令和5年7月10日（月）から7月14日（金）まで （郵送の場合も7月14日（金）までに必着のこと。）
時 間	午前8時30分から午後5時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校学生課入試担当

5. 出願手続

志願者は、次の書類を取りまとめ、在籍する学校長を經由して本校「学生課入試担当」へ提出してください。なお、郵送の場合は、書留郵便にして「編入学（推薦）願書在中」と朱書してください。

編入学願書	本校所定の用紙を使用してください。
受験票及び写真票	本校所定の用紙を使用し、写真を所定の位置に貼ってください。 写真は、正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したもの。
編入学志望理由書	本校所定の用紙を使用してください。
推薦書	本校所定の用紙を使用してください。
調査書	出身学校所定の用紙を使用してください。（「評定」欄は、第1学年及び第2学年のみ記入してください。）
入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の振込用紙（ゆうちょ銀行についてはゆうちょ銀行専用の振込依頼書）により志願者本人の名前で、金融機関（ゆうちょ銀行可）の窓口から振り込んでください。（ATM使用不可）振り込み後「検定料納付証明書」を編入学願書に貼付してください。（ゆうちょ銀行からの振り込みの場合は「振込依頼書（お客さま控）」を貼付してください。）</p> <p>振込期間 令和5年6月30日（金）～7月14日（金）</p> <p>※ 振り込みの際は銀行の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。また、検定料を願書受付最終日に振り込む場合は、振り込み後当日午後5時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p> <p>※ ゆうちょ銀行での振込手続きについては9頁を参照してください。</p>
受験票返送用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に84円切手を貼付したものを同封してください。（願書持参の場合は不要）

6. 障害等を理由とした合理的配慮の提供に関して

入学志願予定者で、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課入試担当までご相談ください。

7. 選抜方法

「推薦による選抜」は、在籍する学校長から提出された推薦書、調査書及び面接の総合判定とします。なお、面接では基礎的な問題について口頭試問を行います。

面接の日時・場所

期 日	集合時間	面接開始時間	場 所
令和5年7月29日(土)	午前8時30分	午前9時～	佐世保工業高等専門学校

8. 合格者の発表

- (1) 発表日時 令和5年8月4日(金) 午前10時
- (2) 発表方法 合格者には、当日、受験者本人及び在籍する学校長宛に文書を発送します。
また、合格者の受験番号を本校ホームページでも発表します。
(アドレス <https://www.sasebo.ac.jp/>)
なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、指定した登校日に「入学確約書」を提出しなければなりません。提出しなかった者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

Ⅱ. 学力による選抜

1. 募集学科・学年・人員

学 科 名	編入学年次	募 集 人 員
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 電 子 制 御 工 学 科 物 質 工 学 科	第 4 学 年	若 干 名

2. 出願資格

- (1) 工業高等学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の工業に関する学科を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の工業に関する学科を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (4) 高等学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (5) 中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者

3. 志望学科

志望学科	出身校における所属科等
機 械 工 学 科	普通科、理数科、機械科、電子機械科、機械システム科等
電 気 電 子 工 学 科	普通科、理数科、電気科、電子工学科、情報技術科等
電 子 制 御 工 学 科	普通科、理数科、電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	普通科、理数科、工業化学科、化学工学科、材料技術科等

4. 願書受付

期 間	令和5年11月15日（水）から11月20日（月）まで （郵送の場合も11月20日（月）までに必着のこと。）
時 間	午前8時30分から午後5時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校学生課入試担当

5. 出願手続

志願者は、次の書類等を取りまとめ、出願資格に定める出身学校長を經由して本校「学生課入試担当」へ提出してください。なお、郵送の場合は、書留郵便にして「編入学願書在中」と朱書してください。

編入学願書	本校所定の用紙を使用してください。
受験票及び写真票	本校所定の用紙を使用し、写真を所定の位置に貼ってください。 写真は、正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したもの。
編入学志望理由書	本校所定の用紙を使用してください。
調査書	出身学校所定の用紙を使用してください。(卒業見込み者の「評定」欄は、第1学年及び第2学年のみ記入して下さい。)
卒業見込証明書 又は卒業証明書	出身学校所定の用紙を使用してください。
入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の振込用紙(ゆうちょ銀行についてはゆうちょ銀行専用の振込依頼書)により志願者本人の名前で、金融機関(ゆうちょ銀行可)の窓口から振り込んでください。(ATM使用不可)振り込み後「検定料納付証明書」を編入学願書に貼付してください。(ゆうちょ銀行からの振り込みの場合は「振込依頼書(お客さま控)」を貼付してください。)</p> <p>振込期間 令和5年11月6日(月)～11月20日(月)</p> <p>※ 振り込みの際は銀行の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。また、検定料を願書受付最終日に振り込む場合は、振り込み後当日午後5時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p> <p>※ ゆうちょ銀行での振込手続きについては9頁を参照してください。</p>
受験票返送用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に84円切手を貼付したものを同封してください。(願書持参の場合は不要)
受験承諾書	既に就職している者又は大学に在学中の者については、その所属長の「 受験承諾書 」を本校校長あてに提出してください。 なお、様式は任意とします。

6. 障害等を理由とした合理的配慮の提供に関して

入学志願予定者で、障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課入試担当までご相談ください。

7. 選抜方法

「学力による選抜」は、学力試験の成績、出願資格に定める出身学校長からの調査書及び面接等の結果を総合して行います。

(1) 学力試験

ア 学力試験は、筆記試験を行います。

イ 出願資格(1)～(3)の者についての出題する科目及びその範囲は、次のとおりとします。

なお、電気電子工学科の専門科目については、必須科目として「電気基礎」は全員受験し、選択科目として「電子回路」・「電子情報技術」・「電気機器」の3科目から2科目を選択して受験してください。

		科目名	出題範囲
専門科目	機械工学科	機械工作	工業材料、鋳造、溶接、塑性加工
		機械設計	力と運動、仕事と動力、材料の強さ 機械要素と設計(軸受、ばねを除く)
	電気電子工学科 (選択科目は3科目中2科目を受験すること。)	電気基礎 (必須科目)	電気と磁気、静電気、直流回路計算、交流回路計算
		電子回路 (選択科目)	半導体と半導体素子、電子回路
		電子情報技術 (選択科目)	論理回路、論理代数、P進数
		電気機器 (選択科目)	直流機、変圧器、誘導機
	電子制御工学科	電気基礎	磁気と静電気、電気回路、電子回路
		プログラミング技術 ソフトウェア技術	ソフトウェアの基礎、プログラミング(C言語・アルゴリズム)
	物質工学科	工業化学	元素の性質と化学結合、溶液の濃度、物質の状態と変化(気体、酸化還元、速度、平衡を含む)、酸・塩基、有機化合物
		化学工学	化学工学に関する単位、物質収支、流体輸送、熱の移動
一般科目	各科共通	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B(数列・ベクトル)
		英語	コミュニケーション英語Ⅰの全範囲

※ 機械工学科、電気電子工学科及び物質工学科の専門科目については、関数電卓の使用を許可しますので持参してください。(ただし、ポケットコンピュータは不可)

ウ 出願資格（４）、（５）の者についての出題する教科及びその範囲は、次のとおりとします。

教科名	学科名	出題範囲
英語	全学科	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ
数学	〃	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B（数列・ベクトル）
理科	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科	物理基礎、物理（原子の領域は除く）
	物質工学科	化学基礎、化学

（２）学力試験、面接の日時

ア 出願資格（１）～（３）の者についての日時

期 日	試験項目	時 間
12月2日（土）	受験者集合	8：30
	専門科目	9：00～10：40（100分）
	数 学	11：00～12：30（90分）
	英 語	13：30～14：30（60分）
	面 接	14：50～

イ 出願資格（４）、（５）の者についての日時

期 日	試験項目	時 間
12月2日（土）	受験者集合	8：30
	理 科	9：00～10：40（100分）
	数 学	11：00～12：30（90分）
	英 語	13：30～14：30（60分）
	面 接	14：50～

（３）試験会場 佐世保工業高等専門学校

8. 合格者の発表

（１）発表日時 令和5年12月14日（木）午前10時

（２）発表方法 合格者には、当日、受験者本人宛に文書を発送します。
また、合格者の受験番号を本校ホームページでも発表します。
（アドレス <https://www.sasebo.ac.jp/>）
なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、指定した登校日に「入学確約書」を提出しなければなりません。提出しなかった者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

Ⅲ. 編入学の時期・年次、修業年限及び修学条件

1. 編入学の時期は、令和6年4月1日とし、第4年次に編入となります。
2. 編入した者の修業年限は2年です。
3. 本校の卒業に必要な最低修得単位数は、一般科目81単位以上及び専門科目86単位以上の計167単位以上です。編入学後は、申請に基づき認定審査等を行い、入学前の履修した単位等の一部を本校の卒業要件単位として認定します。ただし、原則として本校の第3年次までに開講している一般・専門科目の単位数を限度とします。
4. 履修する科目等については、入学後個別に指導します。

Ⅳ. 注意事項等

1. 提出書類に不備がある場合は受け付けません。また、提出書類に不正の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
2. 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
 - ① 本校に出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
 - ② 誤って二重に払い込んだ場合
3. 受験の際には、必ず受験票を持参してください。

Ⅴ. 個人情報の取り扱いについて

編入学志願者から提出された願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった編入学者選抜を通じて取得した個人情報は、編入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

編入学のための学校案内

1 創 立 昭和37年4月1日

2 本校の目的 本校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた有為な技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。卒業者には「準学士」の称号が与えられます。

3 編入学制度 高等学校の卒業者に対して本校第4学年への編入学の門戸を開いて、より優れた工業技術者を養成するための制度です。
本校では昭和60年度からこの制度を導入し、令和4年度までに工業高校及び普通高校から180名を超える高等学校卒業生を受け入れています。

4 修業年限 2年（中学校卒業者の5年一貫教育ですが第4学年へ編入のため）

5 教育課程 高等専門学校の特徴は、実験・実習を重視した教育を行い、共通基礎科目、基礎・専門に関する科目、技術習得に関する科目及び課題解決能力育成科目が相互に関連づけられて、効果的に教育課程が編成されていることです。

6 学 寮

本校は、教育の一環として、共同生活を通じて人間形成を図るため、希望者を選考して入寮を許可しています。編入学生についても、同様に選考して入寮を許可します。4、5年生の寮室は個室か2人部屋で、各部屋にエアコンが完備されています。また各人ごとにベッド、ロッカー、自習机、椅子、本棚が設置されています。

7 修学支援制度

日本学生支援機構による支援制度で、入学料、授業料の減免・給付奨学金（返還不要）・貸与奨学金（卒業後返還必要）を受けることができます。

支援を受けるためには家計収入や学力等の要件がありますので、詳細は日本学生支援機構のHPをご確認ください。

参考までに、どの程度の支援を受けることができるのか、下表にまとめております。

また、日本学生支援機構による奨学金以外にも、各財団等による奨学金が存在します。

学校HP等で案内していますので、ご確認ください。

【入学料、授業料の減免、給付奨学金支給一覧表（年額）】

	入学料	授業料	給付型奨学金 (自宅通学生)	給付型奨学金 (自宅外通学生)
非課税世帯（全額支援） 収入 270 万円まで	84,600 円	234,600 円	210,000 円	410,400 円
準非課税世帯（2/3 支援） 収入 300 万円まで	56,400 円	156,400 円	140,000 円	273,600 円
準非課税世帯（1/3 支援） 収入 380 万円まで	28,200 円	78,200 円	70,800円	136,800 円

【貸与奨学金支給一覧表（月額）】

学年	第一種奨学金			第二種奨学金
	月額の種類	自宅	自宅外	
1～3年生		21,000 円	22,500 円	貸与月額 20,000 円～ 120,000 円までの間で 1 万円単位の額を選択
		10,000 円	10,000 円	
4、5年生 専攻科	最高月額	45,000 円	51,000 円	
	最高月額	30,000 円	40,000 円	
	以外の月額	20,000 円	30,000 円	
			20,000 円	

※第二種奨学金 …… 利息付奨学金のことで本人が貸与月額（上記参照）を自由に選択することができます。（在学中は無利息）

※第一種貸与奨学金と給付奨学金を同時に受給する場合は、貸与額が調整（減額）されます。

8 卒業後の進路

本校は、既に8,000人を超える卒業生を社会に送り出し、大多数の者は各種の企業に就職して、それぞれの分野で活躍しており、また、一部の者は大学に進学し、さらに大学院へ進んだ人もいます。

8-1 就職について

産業界における高専卒業生の評価は非常に高く、毎年ほぼ100%の就職率を誇っており、仕事の内容は、研究・開発・設計・生産管理等の分野で活躍しています。

主な就職先は次のとおりです。

- ◇ **機械** 三菱重工 ニコン 日本精工九州 ダイキン工業 キヤノン 村田機械 千代田工商
コニカミノルタジャパン 三井ハイテック 三菱パワー 三浦工業 中山鉄工所
矢崎総業 NOK カシフジ
- ◇ **輸送用機器** トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 マツダ SUBARU
いすゞエンジニアリング マツダE&T トヨタプロダクションエンジニアリング
JALエンジニアリング ANAラインメンテナンステクニクス
- ◇ **陸運** JR九州 JR西日本 JR東日本 JR東海 JR貨物
- ◇ **食品** 江崎グリコ 森永乳業 雪印メグミルク サントリーホールディングス 三井製糖
九星飲料工業
- ◇ **鉄鋼** 新日鐵住金 日鉄プラント設計 JFEスチール
- ◇ **繊維・パルプ** ユニチカ 東レ
- ◇ **化学・窯業** 花王 旭化成 住友化学 日立化成工業 日本触媒 DIC 大日精化工業
JXTGエネルギー 出光興産 カネカ 住友精化 デンカ 積水化学工業 東ソー

昭栄化学工業 三洋化成工業 KMバイオロジクス

- ◇ **電気機器** ソニー デンソー パナソニック 日立製作所 シャープ パイオニア
三菱電機 日東電工 京セラ
- ◇ **電気・ガス** 中部電力 関西電力 九州電力 大阪ガス 東京ガス 東京電力 電源開発
- ◇ **サービス** NTT NHK 安川エンジニアリング 三菱電機ビルテクノサービス
パナソニックアプライアンス社 富士通九州システムサービス いわさきグループ
日本オーチス・エレベータ Mテック 三井不動産 ムラテックCCS
- ◇ **地元企業** 西部ガス 九州電力 安川電機 三菱重工業長崎造船所 シーヴィテック九州
佐賀鉄工所 佐賀新聞社 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング SUMCO
東京エレクトロン九州 九州テン 日本理工医学研究所 MHIパワーエンジニアリング
たらみ 長崎キャノン エフエム長崎 MHIソリューションテクノロジーズ
戸上電機製作所 佐世保重工業 大島造船所 名村造船 相浦機械 福祉ソフト
新日本無線 佐賀エレクトロニクス SSNファシリティーズ KTX

8-2 進学について

高専の卒業生は、技術者として、十分な素養と専門的な学力を身につけていますが、卒業後さらに勉学を続けたい者には、高専専攻科への入学と大学3年次への編入学の途が開かれています。

- (1) 高専卒業後、2年の修学期間が必要な専攻科を置く高専が全国に51校あります。平成9年度より本校にも専攻科が設置され、毎年1学年25名から30名程度の卒業生を受け入れて、現在50名程度の専攻科生が在籍しています。本校の専攻科には複合工学専攻があり、専攻科は、高専卒業生が高専で引き続いて、より高度の高専の教育理念に基づいた教育と研究の指導が受けられます。専攻科修了者は、一定の要件を満たすと学士の学位（大学卒業と同じ資格）を取得でき、大学院へ進学することもできます。

なお、本校では、平成15年度よりJABEE対応教育プログラム（第9項参照）をスタートさせました。

- (2) 本校卒業生の編入実績がある国公立大学は次のとおりで、工学部、理学部及び農学部などに編入しています。また、この他に多数の私立大学があります。

長岡技術科学大学	千葉大学	福井大学	香川大学
豊橋技術科学大学	東京大学	三重大学	九州大学
電気通信大学	九州工業大学	東京農工大学	京都府立大学
熊本大学	東北大学	東京工業大学	大阪府立大学
佐賀大学	東京海洋大学	長崎大学	岡山大学
大分大学	群馬大学	名古屋工業大学	神戸大学
宮崎大学	金沢大学	広島大学	鹿児島大学
筑波大学	信州大学	山口大学	大阪大学
京都工芸繊維大学	愛媛大学	横浜国立大学	徳島大学
高知大学	北海道大学		

9 日本技術者教育認定機構（JABEE）対応教育プログラムについて

高専本科5年課程を経て、専攻科教育課程の必要な単位を修得し、本校の定めた基準を満たした場合、大学改革支援・学位授与機構から『学士（工学）』の学位が授与され大学学部卒業と同等となり、大学院への進学も可能となります。

また、平成15年度からは、本科4、5年と専攻科を合わせた4年間の教育において、日本技術者教育認定機構（JABEE）対応の技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」を設定し、平成16年度にその審査を受け本審査に合格しました。平成16年度修了生より「JABEEプログラム修了生」として国際的に認められた技術者として認定されています。

佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム

(1) プログラム名

「複合型もの創り工学」

(2) 育成しようとする自立した技術者像

グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「もの創り」を行うために、各専門分野（機械工学、電気電子工学、情報工学、化学・生物工学）について深い専門性を養いつつ、先進的な他の専門分野の知識と技術も身につける複合的な教育を行うことにより、複眼的な問題解決能力を備えた創造性豊かな、世界に通用する「もの創り技術者」を育成します。

(3) 学習・教育到達目標

(A) 工学の基礎と専門

- 1) 数学（微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など）と自然科学（物理、化学など）の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること
- 2) 情報技術の基礎知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること
- 3) 基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の解決に応用できること
- 4) それぞれの専門分野における「もの創り専門工学」の知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること

(B) 地球的視点と技術者倫理

- 1) 他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること
- 2) 技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できること

(C) コミュニケーション能力

- 1) 技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること
- 2) 相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること
- 3) 英語による基礎的なコミュニケーションができること
- 4) 基礎的な技術英語の文章を読み書きできること

(D) 複眼的かつ実践的能力

- 1) 自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること
- 2) いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できること
- 3) 社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること
- 4) 実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること

(E) 自主・自立と協調性

- 1) 社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること
- 2) 要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること
- 3) 健全な心身を持ち、学内外の人々と協調して行動できること



(4) プログラムの構成

本科4、5年と専攻科の2年までの4年間で構成されています。（全学科及び全工学系）

(5) プログラム履修者の決定

専攻科への入学時に対象者を決定します。

(6) 認定対象学生

認定対象は原則専攻科修了生全員です。

(7) プログラムの修了要件

本プログラムの修了要件の全てを満たした者に修了証書を授与します。

[佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」に関する規程抜粋]

第7条 本プログラムの修了要件は次の各号とし、全てを満たした者に修了証書を授与する。

- (1) 本校の専攻科教育課程の必要な単位を修得すること。
- (2) 大学改革支援・学位授与機構より、学士の学位を受けること。
- (3) 本プログラムにおいて、124単位以上を修得すること。
- (4) 付表に定める学習・教育到達目標とその評価方法および評価基準を満たしていること。

2 本プログラムの修了認定は、専攻科委員会において行う。

※ 付表・別表については、本校ホームページにてご確認ください。

(8) 出願資格と JABEE プログラム修了要件について

専攻科に入学した者は、原則全員、佐世保工業高等専門学校本科・専攻科「複合型もの創り工学」プログラムの履修者となります。しかし、本教育プログラムは、具体的には佐世保工業高等専門学校の本科4、5年生及び専攻科1年、2年のカリキュラム（平成16年4月1日から施行）で構成されていますので、募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる者であつ

ても、J A B E Eプログラムの修了要件を満たさない場合があります。

専攻科の入学者で、J A B E Eプログラム修了要件を満たさない場合は、専攻科入学後に補講等により、学力認定を受け、定められた基準を満たす必要があります。

① 佐世保工業高等専門学校卒業（見込み）者の場合

J A B E E「複合型もの創り工学」プログラムに規定されている科目を専攻科入学前に履修しないで合格となった者は、入学後に補講等でこれらの科目を受講し、単位を修得する必要があります。

佐世保工業高等専門学校卒業生であっても、平成15年3月以前の卒業生に対しては成績証明書、シラバス等で個別の審査を実施します。審査の結果、修了要件を満たさないと判定された場合は、補講等を受講し、学力認定を受け、定められた基準を満たさなければなりません。

② 佐世保工業高等専門学校卒業生以外の場合

佐世保工業高等専門学校卒業生以外で合格した者については、成績証明書、シラバス等の学習保証時間を証明することができる書類により履修科目を個別に審査します。審査の結果、本校と同等の科目・基準で修得したと認められない場合には、補講等を受講し、定められた基準を満たす必要があります。

※ 令和5年度から佐世保工業高等専門学校専攻科へ入学する学生を対象に設置された九州大学工学部融合基礎工学科と本校専攻科にて修学するプログラムコースの対象となる学生は、「複合型もの創り工学」プログラムの対象外となります。

10 入学後の所要経費

名 称		区 分	(入学時) 4・5月	10月	備 考
入 学 料			84,600 円	0 円	3月中に納付
授 業 料			117,300 円	117,300 円	年2回に分納
学 生 会	入 会 金 費		1,500 円	0 円	入学時のみ 年2回に分納
			7,500 円	7,500 円	
工 場 見 学 旅 行 経 費			約140,000 円	0 円	第4学年で実施。実施(9月)前に納付
そ の 他 諸 納 金			27,550 円	13,000 円	
教 科 書 ・ 参 考 書 等			約 40,000 円	0 円	
体 操 服 等			約 30,000 円	0 円	
学 寮	寄 宿 料		4,800 円	4,000 円	(月額) 800 円 (1人部屋)
	寮 費		57,000 円	57,000 円	(月額) 11,400円
	特 別 寮 費		2,000 円	0 円	入寮時のみ
合 計			約 512,250 円	198,800 円	

※ 上記の経費は令和6年度の予定額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。学寮経費については、別途1日当り1,180円の給食費が毎月必要となります。

教 育 課 程 表

令和2年度～令和4年度入学

一般科目 (機械・電気電子・電子制御工学科)

授 業 科 目		単位数	形態	学 年 別 単 位 数					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
国語	国語	8	履	3	3	2			
	文章表現演習	1	学				①		
社会	地球・環境と社会	1	履	1					
	現代社会	1	履	1					
	世界の歴史	1	履		1				
	政治経済	1	履		1				
	世界の情勢と日本の歩み	2	履			2			
	国際関係論	1	学				①		
	技術者倫理	1	学				①		
	科学技術と社会	1	学					①	
	数学	基礎数学Ⅰ	4	履	4				
	基礎数学Ⅱ	4	履	4					
	基礎線形代数	2	履		2				
	微分積分	8	履		4	4			
理科	物理	4	履		2	2			
	化学	4	履	2	2				
	生物	1	履	1					
体育	保健体育	6	履	2	2	2			
	健康と科学	3	履				2	1	
	芸術	1	履		1				
外国語	英語	11	履	3	4	4			
	科学英語	2	学				①	①	
	英語表現	4	履	2	2				
	英会話	3	履	1	1	1			
	コミュニケーション	2	学				①	①	
	西九州地域研究	2	履		2				
	グローバルリテラシー	2	履			2			
	小計	81		24	27	19	7	4	
選択科目	中国語	2	履					2	
	小計	2						2	
開設単位数計		83		24	27	19	7	6	
修得単位数計		81		24	27	19	7	4	
特別活動		3		1	1	1			

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数、○付数字は「学修単位」の単位数を表す。

令和2年度～令和4年度入学
一般科目（物質工学科）

授 業 科 目		単位数	形態	学 年 別 単 位 数					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
国語	国語	8	履	3	3	2			
	文章表現演習	1	学				①		
社会	地球・環境と社会	1	履	1					
	現代社会	1	履	1					
	世界の歴史	1	履		1				
	政治経済	1	履		1				
	世界の情勢と日本の歩み	2	履			2			
	国際関係論	1	学				①		
	技術者倫理	1	学				①		
	科学技術と社会	1	学					①	
	数学	基礎数学Ⅰ	4	履	4				
	基礎数学Ⅱ	4	履	4					
	基礎線形代数	2	履		2				
	微分積分	8	履		4	4			
理科	物理	4	履		2	2			
	化学	4	履	4					
	生物	1	履	1					
体育	保健体育	6	履	2	2	2			
	健康と科学	3	履				2	1	
	芸術	1	履		1				
外国語	英語	11	履	3	4	4			
	科学英語	2	学				①	①	
	英語表現	4	履	2	2				
	英会話	3	履	1	1	1			
	コミュニケーション	2	学				①	①	
	西九州地域研究	2	履		2				
	グローバルリテラシー	2	履			2			
	小計	81		26	25	19	7	4	
選択科目	中国語	2	履					2	
	小計	2						2	
開設単位数計		83		26	25	19	7	6	
修得単位数計		81		26	25	19	7	4	
特別活動		3		1	1	1			

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数、○付数字は「学修単位」の単位数を表す。

教 育 課 程 表

令和2年度入学以降
専門科目 (機械工学科)

	授 業 科 目	単位数	形態	学 年 別 単 位 数					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	2	学				②		
	応用数学Ⅱ	2	学				②		
	情報セキュリティ基礎	1	履	1					
	プログラム基礎	2	履			2			
	データサイエンス工学	2	学				②		
	機械デザイン学	6	履	3	3				
	設計	2	履			2			
	機構と設計	2	学				②		
	機械工作法	4	履学		1	2			
	工作機械	2	学				①		
	材料学	2	履		1	1			
	材料力学	4	履学			2			
	弾性力学	1	学					①	
	電気工学	2	履			2			
	メカトロニクス	2	学				②		
	制御工学	2	学					②	
	計測工学	2	学					②	
	電気磁気学	2	学					②	
	機械力学	2	学				②		
	機械振動学	2	学					②	
熱力学	2	学					②		
熱工学	2	学					②		
水力学	2	学					②		
流体力学	2	学					②		
機械工学基礎	2	履	2						
創作実習	1	履	1						
機械工作実習	4.5	履	1.5	3					
ものづくり総合実習	5.5	履			5.5				
機械工学実験	2	学				②			
工学応用演習	2	学				②			
機械情報工学実験	2	学					②		
卒業研究	8	履					8		
小 計	81			8.5	8	16.5	23	25	
選択科目	機械システム設計Ⅰ	2	学					②	5年の選択科目は 5単位以上選択
	機械システム設計Ⅱ	2	学					②	
	文献講読	1	学					①	
	機械工学特別演習	1	学					①	
	情報処理	1	学					①	
	材料強度学	1	学					①	
	精密加工学	1	学					①	
	エネルギー変換工学	1	学					①	
	航空工学	1	学					①	
	ロボット工学	1	学					①	
	トライボロジー	1	学					①	
	工場実習	2	履				2		
	技術国際研修	1	履				1		
	社会人基礎力育成セミナー	2	履				2		
	半導体工学概論	1	履				1		
半導体デバイス工学	1	履				1			
国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年2単位 まで履修可	
国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2		
イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年2単位 まで履修可	
イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2		
小 計	50			6	6	6	13	19	
開設単位数計	131			14.5	14	22.5	36	44	
修得単位数計	86			8.5	8	16.5	23	30	

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数、○付数字は「学修単位1」、
□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

令和2年度入学以降
専門科目（電気電子工学科）

授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考		
			1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	応用数学Ⅰ	2	学				2			
	応用数学Ⅱ	2	学				2			
	データサイエンス工学	2	学				2			
	一般物理	2	学				②			
	エネルギー環境工学	2	学					2		
	電気電子工学基礎	2	履	2						
	電気磁気学Ⅰ	3	履		1	2				
	電気磁気学Ⅱ	2	学				②			
	電気回路Ⅰ	4	履		2	2				
	電気回路Ⅱ	2	学				②			
	電気電子計測	1	履		1					
	IoTセンシング	2	学				2			
	電子回路Ⅰ	1	履			1				
	電子回路Ⅱ	2	学				2			
	電子工学	2	学					2		
	電気電子材料	2	学					2		
	通信工学	2	学				2			
	制御工学	2	学				2			
	科目	情報セキュリティ基礎	1	履	1					
		情報工学基礎演習	1	履	1					
プログラミング		3	履		1	2				
デジタル回路		2	履			2				
情報処理		2	学				2			
コンピュータネットワーク		2	学					②		
電気機器		2	履			2				
パワーエレクトロニクス		2	学				②			
スマートエネルギー		2	学					②		
電気法規・施設管理		2	学					②		
科目	電気電子製図演習	2	履	2						
	創作実習	1	履	1						
	電気電子情報工学実験Ⅰ	6	履		3	3				
	電気電子情報工学実験Ⅱ	6	学				④	②		
	卒業研究	11	履					11		
	小計	82		7	8	14	28	25		
	選択科目	先端エネルギー応用	2	学					2	5年生の 選択科目は 4単位以上選択
		情報工学	2	学					2	
		電気設計	2	学					2	
		信号処理	2	学					2	
無線通信概論		1	履					1		
半導体工学概論		1	履				1			
半導体デバイス工学		1	履				1			
工場実習		2	履				2			
技術国際研修		1	履				1			
国際研修Ⅰ		5	履	1	1	1	1	1		
国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2			
科目	イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年2単位 まで履修可	
	イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2		
	小計	44		6	6	6	11	15		
開設単位数計	126		13	14	20	39	40			
修得単位数計	86		7	8	14	28	29			

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位1」，
□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

令和2年度入学以降
専門科目（電子制御工学科）

授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	応用数学Ⅰ	2	学				2		
	応用数学Ⅱ	2	学				2		
	データサイエンス工学	2	学				2		
	一般物理	2	学				②		
	情報セキュリティ基礎	1	履	1					
	情報工学基礎	1	履	1					
	プログラミング	1	履	1					
	情報処理	3	履	1	2				
	CADシミュレーション	1	履		1				
	デジタル回路	2	履			2			
	知的システム基礎	1	履			1			
	計算機工学	1	履			1			
	ソフトウェア科学Ⅰ	2	履			2			
	ソフトウェア科学Ⅱ	2	学				2		
	ネットワークアーキテクチャ	2	学				2		
	情報通信	2	学					2	
	情報工学応用	2	学					2	
	システム工学	2	学					2	
	システム・プログラム論	2	学					2	
	知識工学	2	学					2	
	数値プログラミング	1	学					1	
	画像工学	2	学					2	
	ものづくり基礎	1	履	1					
	基礎電気工学	2	履	2					
	電気工学	2	履		2				
	電気回路Ⅰ	2	履			2			
	電気回路Ⅱ	2	学				2		
	電気磁気学Ⅰ	2	履			2			
	電気磁気学Ⅱ	2	学				2		
	電子回路Ⅰ	2	履			2			
電子回路Ⅱ	2	学				2			
通信工学	2	学				2			
制御工学	2	学				2			
電子制御工学	2	学					2		
ロボティクス	2	学					2		
創作実習	1	履	1						
工学実験・実習	12	履学		3	3		③		
卒業研究	10	履					10		
小計	86		8	8	15	25	30		
選択科目	半導体工学概論	1	履				1	各学年2単位 まで履修可	
	半導体デバイス工学	1	履				1		
	工場実習	2	履				2		
	技術国際研修	1	履				1		
	国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1		
	国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2		
	イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1		各学年2単位 まで履修可
	イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2		
小計	35		6	6	6	11	6		
開設単位数計	121		14	14	21	36	36		
修得単位数計	86		8	8	15	25	30		

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位1」，□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

令和2年度入学以降
専門科目（物質工学科）

授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
基礎物質化学	1	履	1					
基礎生物工学	1	履	1					
工学基礎	1	履	1					
情報セキュリティ基礎	1	履	1					
基礎情報処理	1	履		1				
情報処理Ⅰ	1	履			1			
情報処理Ⅱ	1	学						1
データサイエンス工学	2	学					2	
分析化学	2	履		2				
無機化学	2	履			2			
有機化学Ⅰ	1	履		1				
有機化学Ⅱ	2	履			2			
有機化学Ⅲ	2	学					2	
高分子化学	2	学					2	
微生物学序論	1	履		1				
生物化学Ⅰ	1	履			1			
生物化学Ⅱ	2	学					2	
生物化学Ⅲ	2	学						2
生物工学	2	学					2	
物理化学Ⅰ	1	履			1			
物理化学Ⅱ	2	学					2	
物理化学Ⅲ	2	学						2
量子化学	1	学						1
化学工学Ⅰ	2	履			2			
化学工学Ⅱ	2	学					2	
反応工学	2	学						2
プロセス工学	1	学						1
応用数学Ⅰ	1	学					①	
応用数学Ⅱ	2	学					2	
一般物理	2	学					2	
機器分析	2	学					2	
機能材料解析学	1	学						1
細胞・遺伝子工学	1	学						1
環境工学	1	学						1
資源化学	1	学						1
計算化学	1	学						1
複合工学	1	学						1
創作実習	1	履	1					
物質化学実験1	5	履		5				
物質化学実験2	5	履			5			
物質化学実験3	5	学					⑤	
物質化学実験4	2	学					②	
物質化学実験5	3	学						③
卒業研究	11	履						11
小計	86		5	10	14	28	29	
半導体工学概論	1	履				1		
半導体デバイス工学	1	履				1		
工場実習	2	履				2		
技術国際研修	1	履				1		
国際研修Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年2単位 まで履修可
国際研修Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
イノベーション創成Ⅰ	5	履	1	1	1	1	1	各学年2単位 まで履修可
イノベーション創成Ⅱ	10	履	2	2	2	2	2	
小計	35		6	6	6	11	6	
開設単位数計	121		11	16	20	39	35	
修得単位数計	86		5	10	14	28	29	

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位1」，□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

専攻科教育課程

別表第3(第50条関係)

令和5年度入学以降
一般科目及び専門基礎科目

授 業 科 目		単位数	標準履修年次	備 考	専攻の区分				連携教育 プログラム 認定科目			
					機械 工学	電気電 子工学	情報 工学	応用 化学				
					MI	MI	MI	MI				
一 般 科 目	必 修 科 目	日 本 語 表 現 法	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		総 合 英 語 I	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	◎me,ee,it,cb
		総 合 英 語 II	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	◎me,ee,it,cb
		応 用 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1	2年	△	△	△	△	△	△	△	
		線 形 代 数	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	
		確 率 統 計	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	
		必修科目修得単位数計	11									
	選 択 必 修 科 目	一 般 化 学	2	1年	○	○		○		○		
		離 散 数 学	2	1年	○	○	◎	○	○	○	○	
		選択必修科目開設単位数計	4									
		選択必修科目修得単位数計	2									
	選 択 科 目	国 際 協 力 論	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		対 外 交 渉 史 論	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		産 業 経 済 と 技 術 者 倫 理	2	2年	△	△	○	○	△	△	△	
		社 会 福 祉 論	2	1年	△	△	△	△	△	△	△	
		選択科目開設単位数計	8									
		選択科目修得単位数計	4以上									
一般科目修得単位数計	17以上											
専 門 基 礎 科 目	必 修 科 目	技 術 者 総 合 ゼ ミ I	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	◎me,ee,it,cb
		技 術 者 総 合 ゼ ミ II	1	2年	○	○	○	○	○	○	○	
		総 合 創 造 実 験	2	1年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎me,ee,it,cb
		総 合 創 造 演 習	2	1年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎me,ee,it,cb
		計 算 科 学	2	1年	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎me,ee,it,cb
		必修科目修得単位数計	9									
	選 択 必 修 科 目	現 代 物 理 学	2	1年	○		○		○			○me,ee,it,cb
		位 相 数 学	2	1年		○		○		○		
		機 能 材 料 論	2	1年	○	○	◎	◎	◎	◎		○me,ee,it,cb
		環 境 論	2	1年	○		○		◎	◎		○me,ee,it,cb
		代 数 学 概 論	2	1年	○	○	○	○	○	○	○	
選択必修科目開設単位数計	10											
選択必修科目修得単位数計	6											
専門基礎科目修得単位数計	15											
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計	42											
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計	32以上											

2単位以上修得
4単位以上修得

機械・電気・情報のMI履修者はいずれか2単位修得

2単位修得

4単位修得

専攻に係わる単位
専門的な内容の授業科目の単位(専門科目の単位)→◎で表示
専門に関連する授業科目の単位(関連科目の単位)→○で表示
専攻に係わる単位以外の単位→△で表示

必須→◎
選択→○
※選択科目は4単位以上を選択すること

専攻	科目	授業科目	単位数	標準履修年次	系	備考	専攻の区分				連携教育 プログラム 認定科目			
							機械 工学	電気電 子工学	情報 工学	応用 化学				
							MI	MI	MI	MI				
専攻	必修科目	特別研究	8	2年			◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		科学英語文献ゼミ	2	2年			○	○	○	○	○	○		
		固体力学	2	1年			◎	◎	○	○	○	◎	◎	○me,ee,it,cb
		生命科学	2	1年			○	○	○	○	○	◎	◎	○me,ee,it,cb
		情報基礎論	2	1年			◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎me,ee,it,cb
		必修科目修得単位数計	16											
	選択科目	研究基礎	4	1年	連携									◎me,ee,it,cb
		場の力学	2	1年	機		◎	◎						◎me
		粘性流体力学	2	1年	機		◎	◎						◎me
		精密加工特論	2	1年	機		◎	◎						
		機械振動論	2	1年	機		◎	◎						◎me
		画像情報工学	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		◎ee,it
		通信方式	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		◎ee,it
		電気エネルギー応用	2	1年	電情				◎	◎	◎	◎		◎ee,it
		触媒プロセス工学	2	1年	化生							◎	◎	◎cb
		工業分析化学	2	1年	化生							◎	◎	◎cb
		酵素工学	2	1年	化生							◎	◎	◎cb
		熱流動工学	2	2年	機		◎	◎						
		情報科学	2	2年	電情				◎	◎	◎	◎		
		知識情報工学	2	2年	電情				◎	◎	◎	◎		
応用物理化学	2	2年	化生							◎	◎			
無機工業化学	2	2年	化生							◎	◎			
選択必修科目開設単位数計	34												必須→◎ 選択→○	
選択必修科目修得単位数計	10												※選択科目は4単位 以上を選択すること	

10単位修得

専攻に係わる単位
 専門的な内容の授業科目の単位(専門科目の単位)→◎で表示
 専門に関連する授業科目の単位(関連科目の単位)→○で表示
 専攻に係わる単位以外の単位→△で表示

